

令和6年度研修主題

「主体的に学び、豊かに表現できる生徒の育成」

—教科の魅力を伝える指導の工夫を通して—

主題設定の理由

- 伊勢崎学校教育構想の「確かな学力向上プラン」のうち、「考え表現する力づくり」を重点課題とし、生徒に「分かる喜び」「できる楽しさ」を味わえるようにさせながら、学力向上を図る。
- 各教科の本質や魅力を授業を通じて生徒へ伝えたり、経験させたりすることにより、生徒の興味・関心をひきつけ、授業や家庭学習に主体的に学ぶ態度の育成を目指す。
- 各教科の特質に応じた問題解決や学習改善に粘り強く取り組んだり、他者との関わりの中で自らの学習を望ましい方向に向かわせたりできる生徒の育成を目指す。

具体的な取り組み

- ①各教科において生徒の学ぶ意欲を高め、学びを活かし豊かに表現できる生徒を育成する。
 - ・粘り強さ、調整力を意識した授業を実践する。
 - ・学期末や学年末に各教科研修内容を話し合い、成果と課題をまとめる。
 - ・授業やその単元が終了した後の生徒の姿・能力をイメージした授業計画を進めていく。
- ②日常的な授業公開や授業参観を通して授業力向上を図る。
 - ・1学期は管理職面談を実施する。2学期は授業者が日程を定めて略案を作成して実施する。
- ③研究授業と授業研究会をセットとして、授業改善に役立てる。
 - ・研究授業では授業者の同一教科の教員は必ず参観する。授業研究会にも参加し、取組の仮説検証を多くの職員で行う。
 - ・授業研究会では、ジャムボードを用いて全員参加型の研究会を行う。

主な研修計画

- 4月 研修主題共有、共通理解、エピペン研修
- 5月 経営訪問、NRT分析
- 6月 全体会(文系、理数系、実技系教科班に分かれて協議)
- 7月 デモ授業実践・参観、「ようこそ先輩」講演会実施
- 9月 全国学力・学習状況調査の結果と対策
- 10月 計画訪問、共通授業研究会(本校開催:英語)
- 12月 全体会(文系、理数系、実技系教科班に分かれて協議)
- 1月 校内研修の評価・改善
- 3月 本年度の成果・課題

